

教科・分野		週時間数	クラス		担当者
国語総合 (現代文)		4	A		白神由紀江
目 標		<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまなジャンルの文章を味わい、物の見方や感じ方を深める。 ・時と場合に応じて、自分の考えを的確に相手に伝える表現力を養う。 ・豊かな語彙力を身につけ、その場に応じて適切に使える力を養う。 ・読書に親しみ、登場人物の心情を把握し、感動する心を培う。 ・大学入試対応の実践的国語力を養う。 ・「新聞の社説を読もう」で時勢を把握し、自分の意見を持ち、語彙力を高める。 			
大切に育てたいもの		聞くこと・話すこと ・自分の意見を的確にわかりやすく伝えること ・人の意見の要点を正しく聞き取ること	書くこと ・時と場合に応じて、自分の考えを的確に伝えること。 ・表現力豊かに、自分の考えを書くこと	読むこと ・文章を味わい、筆者の意見や考えを的確に読み取ること。 ・登場人物の心情を適切に把握すること	言語事項 ・漢字力 ・語彙力 ・敬語の使い方 ・文法の正しい知識 豊かな言語感覚
学期	考査	学 習 内 容		学 習 の ね ら い	
一 学 期	中間	(随想) 最初のペンギン (小説) 山月記 「新聞の社説を読もう」 (語彙) 慣用句・ことわざなど		・最初のペンギンがもつ意義を通じて、不確実さに立ち向かい乗り越える方法を考える。 ・人間の微妙な心理の変化を読み取り、語り手が構成する場面の意味を考える。	
	期末	(小説) 山月記 (評論) 未来世代への責任 (表現) 意見文・川柳・小論文 「新聞の社説を読もう」 (語彙) 四字熟語など		・人間の微妙な心理の変化を読み取り、語り手が構成する場面の意味を考える。 ・経済学が倫理の否定から倫理の必要性へと到達する逆説を読み取る。 ・自分の訴えたいことをまとめ、他にわかりやすく伝える。発表会をする。	
二 学 期	中間	(詩・短歌・俳句) (評論) メディアと歴史 「新聞の社説を読もう」 (語彙) 文学作品の読みなど		・リズムに注意して朗読したり、詩という表現方法を通して作者が訴えたい心情を把握したりする。 ・日本の伝統的な短詩型文学を鑑賞し、自らも創作する。 ・環世界への注視という筆者の意図を読み取る。	
	期末	(小説) レキシントンの幽霊 (評論) 戦争の〈不可能性〉 (表現) 小論文 「新聞の社説を読もう」		・文章に描かれている情景を人物の行動や状況を捉える手掛かりにする。 ・日本と世界の感性のあり方について考察する。 ・論理的に自分の考えを組み立て、豊かに表現する力を身につける。	
三 学 期	期末	(評論) 「である」ことと「する」こと (小説) ころも 「新聞の社説を読もう」		・筆者の問題意識を踏まえ、社会事象を捉え直す観点を手に入れる。 ・人物の心情を読み取り、近代の小説世界を想像力豊かに読み味わう。	
評 価 の 方 法		・定期考査 ・書き取り50問テスト・読書記録 ・新聞の社説を読もう・漢字練習プリント ・短歌・川柳・折句・俳句などの創作・小論文意見文・その発表 その他の提出物・授業態度 など			
学 習 活 動 の 特 徴		・講義形式・発表形式など			
授 業 の 形 態		クラス一斉授業			
使 用 教 科 書		『精選現代文B』三省堂			
使 用 副 教 材		・『頻出漢字マスター3000』尚文出版 ・『国語総合ガイド』 京都書房 ・自作資料「新聞の社説を読もう」・週末課題の問題集二～三冊 ・二学期から大学入試対策語句集			
用 意 す る も の		教科書・ノート・国語辞典・国語総合ガイド			
備 考		・「新聞の社説を読もう」は週一回実施 読書記録は適宜 ・漢字小テストは週一回実施 ・二学期から語句テスト			

教科・分野		週時間数	クラス		担当者
国語総合 (現代文)		2	B・C		白神由紀江
目 標		<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまなジャンルの文章を味わい、物の見方や感じ方を深める。 ・時と場合に応じて、自分の考えを的確に相手に伝える表現力を養う。 ・豊かな語彙力を身につけ、その場に応じて適切に使える力を養う。 ・読書に親しみ、登場人物の心情を把握し、感動する心を培う。 ・大学入試対応の実践的国語力を養う。 ・「新聞の社説を読もう」で時勢を把握し、自分の意見をもち、語彙力を高める。 			
大切に育てたいもの		聞くこと・話すこと	書くこと	読むこと	言語事項
		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を的確にわかりやすく伝えること ・人の意見の要点を正しく聞き取ること 	<ul style="list-style-type: none"> ・時と場合に応じて、自分の考えを的確に伝えること。 ・表現力豊かに、自分の考えを書くこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を味わい、筆者の意見や考えを的確に読み取ること。 ・登場人物の心情を適切に把握すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字力 ・語彙力 ・敬語の使い方 ・文法の正しい知識 豊かな言語感覚
学期	考査	学 習 内 容		学 習 の ね ら い	
一 学 期	中間	(随想) 最初のペンギン (小説) 山月記 「新聞の社説を読もう」		<ul style="list-style-type: none"> ・最初のペンギンがもつ意義を通じて、不確かさに立ち向かい乗り越える方法を考える。 ・人間の微妙な心理の変化を読み取り、語り手が構成する場面の意味を考える。 	
	期末	(小説) 山月記 (評論) 未来世代への責任 (表現) 意見文・川柳 「新聞の社説を読もう」		<ul style="list-style-type: none"> ・人間の微妙な心理の変化を読み取り、語り手が構成する場面の意味を考える。 ・経済学が倫理の否定から倫理の必要性へと到達する逆説を読み取る。 ・自分の訴えたいことをまとめ、他にわかりやすく伝える。発表会をする。 	
二 学 期	中間	(詩・短歌・俳句) (評論) メディアと歴史 「新聞の社説を読もう」		<ul style="list-style-type: none"> ・リズムに注意して朗読したり、詩という表現方法を通して作者が訴えたい心情を把握したりする。 ・日本の伝統的な短詩型文学を鑑賞し、自らも創作する。 ・環世界への注視という筆者の意図を読み取る。 	
	期末	(小説) レキシントンの幽霊 (評論) 戦争の〈不可能性〉 (表現) 小論文 「新聞の社説を読もう」		<ul style="list-style-type: none"> ・文章に描かれている情景を人物の行動や状況を捉える手掛かりにする。 ・日本と世界の感性のあり方について考察する。 ・論理的に自分の考えを組み立て、豊かに表現する力を身につける。 	
三 学 期	期末	(評論) 「である」ことと「する」こと (小説) こころ 「新聞の社説を読もう」		<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の問題意識を踏まえ、社会事象を捉え直す観点を手に入れる。 ・人物の心情を読み取り、近代の小説世界を想像力豊かに読み味わう。 	
評 価 の 方 法		・定期考査 ・書き取り50問テスト・読書記録 ・新聞の社説を読もう・漢字練習プリント ・短歌・川柳・折句・俳句などの創作・小論文意見文・その発表 その他の提出物・授業態度 など			
学 習 活 動 の 特 徴		・講義形式・発表形式など			
授 業 の 形 態		クラス一斉授業			
使 用 教 科 書		『精選現代文B』三省堂			
使 用 副 教 材		・『頻出漢字マスター3000』尚文出版 ・『国語総合ガイド』 京都書房 ・自作資料「新聞の社説を読もう」・週末課題の問題集二～三冊 ・二学期から大学入試対策語句集			
用 意 す る も の		教科書・ノート・国語辞典・国語総合ガイド			
備 考		・「新聞の社説を読もう」は週一回実施 読書記録は適宜 ・漢字小テストは週一回実施 ・二学期から語句テスト			

科目・分野	週時間数	クラス	生徒数	担当者
現代文	2	D	34名	西本 佑紀子
目 標	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読むことで、論理的な文章を的確に読み取る力を身に付けます。 文章を読み、多様な世界の有り様を知るようにします。また、様々な価値観が生まれてきた背景を学べるようにします。 			
大切に育てたいもの	聞くこと・話すこと	書くこと	読むこと	言語事項
	<ul style="list-style-type: none"> 話題を選び、互いに意見を交わす力。 他人の意見を聴くことで、自分の考えを深めることのできる力。 	<ul style="list-style-type: none"> 確かな構成力と豊かな構想力を身に付け、論理的で説得力のある文章を書く力。 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉に対する感受性を磨き、自己の認識を広げられる深みのある読みのできる力。 表現や言葉を手がかりに、筆者の発想の独自性や思想を読み取ることのできる力。 	<ul style="list-style-type: none"> 国際化のなかで自国の言語文化に関心と理解を深める力。 時代の推移や社会の変化に関心を持ち、豊かな言語感覚を身につける力。

学期	考查	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期	中間	「ネット上の発言の劣化について」 「わかりやすいはわかりにくい？」	<ul style="list-style-type: none"> 評論文・随想の特徴とその読み方を身に付けます。また筆者の主張を読み取りつつ、それを自らの問題として受け止め考察を深めます。
	期末	『山月記』	<ul style="list-style-type: none"> 小説の場面の展開を整理し、作品の構成について理解します。また、中国古典に基づく豊かな表現を味わいます。
二学期	中間	「恐怖とは何か」 詩歌 「二十億光年の孤独」 「永訣の朝」	<ul style="list-style-type: none"> 身近な心の動きを見つめ直すことで、新しい視点で問題意識を持てるようにします。また、精神分析の視点から考える力を養います。 韻文の表現技法・感動への迫り方について理解を深めます。
	期末	「木の葉と光」 「レキシントンの幽霊」	<ul style="list-style-type: none"> 動物行動学から、動物と人間の認識の違いについて考えます。 小説の中の比喻法などの優れた表現効果を読み取り、書き手の意図や登場人物の心情描写を味わいます。
三学期	期末	『こころ』 『ミロのヴィーナス』	<ul style="list-style-type: none"> 本格的な文学作品を読み味わい、読書へ誘います。登場人物の造形や状況を正確に読み取り、人間の心理について理解します。 筆者の考え方や物事を見る観点について理解を深めます。また、巧みな比喻表現を味わいます。
評価の方法		定期テスト・課題提出状況・小テストを得点化。さらに、授業態度等を参考に総合的に判断する。	
学習活動の特徴		講義形式だが、挙手制やグループ活動の形式も取り入れて行う。	
授業の形態		一斉授業	
使用教科書		『精選 現代文B』（三省堂）	
使用副教材		『頻出漢字マスター 3000』（尚文出版）、「2+錬成現代文」（尚文出版） 『21新国語総合ガイド 改訂版』（京都書房）	
用意するもの		上記「副教材」、国語辞典	
備考		問題集はそのつど指示する。	